

《たのしかったね、八瀬の遠足》

毎月のお弁当の日は子どもたちにとって特別な一日です。そして10月のお弁当の日はみんなが楽しみにしていた八瀬の遠足で、この日はいつもよりもわくわくした気持ちが子どもたちの表情から感じ取ることが出来ました。ゆりさんは、八瀬の楽しさを知っているからこそ“わくわく”。ばらさんは、久しぶりに行く八瀬で、魔女さんに会いたくて“わくわく”。さくらさんは、「ねえねえ、ばすにのるの?」「おおきいばす?」「やせってとおいの?」と、初めていく八瀬に“わくわく”。そんなわくわくした気持ちとちょっぴりドキドキした気持ち、そしてリュックを大事に持って、グループのお友だちとバスに乗り込みました。

バスの中では朝の礼拝を守り、遠足が楽しめるようにお約束を伝えます。経験の多いゆりさんが、ばらさん・さくらさんのお手本になってみんなで楽しめるようにお祈りすると、ゆりさんがとりに座るお相手さんに微笑みかけ、さくらさんばらさんも恥ずかしそうに微笑み返し、ドキドキした気持ちも和らぎました。今年度初めての縦割りグループでのバスの時間。お相手さんと一緒にお外の風景を見て、建物や乗り物を見つけたり、八瀬に行ったら何があるのか教えてくれたり、お膝からリュックが落ちそうになっているお友だちに気づいて直してくれる姿も見られました。また、帰りのバスでも、疲れてぐっすり眠るさくらさんが、もたれられるように肩を貸して支えてくれる姿がありました。自然を感じることはもちろんですが、こうした子どもたち同士の関わりで相手を思いやる気持ちの育ちも感じさせてくれる遠足になりました。

26ひきのきょうだいとへびさん

みんなで作った紙コップのかえるさん、三枚折、王冠折、五枚折や縫いさしで作ったへびさんが、さかなグループのお部屋をにぎやかにしてくれています。ちぎったり、貼ったり、切ったり、折ったり、縫ったり、いろいろな指先の動きを取り入れたあそびを経験しています。子どもたちが楽しく経験を重ねられるようにあそんでいきたいと思います。



おいもほり

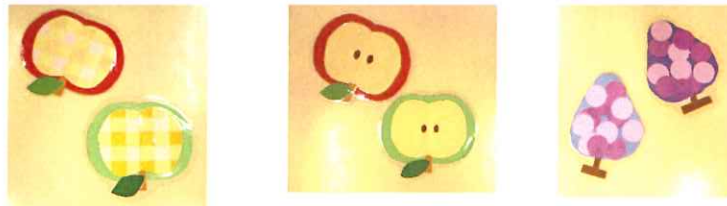
みんなが楽しみにしていた、おいもほりに出かけました。「おおきいのとれるかな〜」とワクワクしながら、河川敷にある畑まで歩きました。スコップを持って、葉っぱやツルがあるところを掘っていくと、少しずつおいもが見えてきて、「みえてきたー!」と大喜び。「なかなかとれないよ〜」「かたいな〜」と言いながら1人で頑張ったり、お友だちと協力して掘ったりしました。大きなおいも、小さいおいも、長いおいも、と様々な形をしたおいもが取れました。おいもを探していると、虫も発見!「みてみて〜むしもいる!」とお友だちに教えてあげる姿も見られ、秋の自然をたくさん感じる事の出来る1日でした。



裏も見てください➡

《災害復興支援の取り組み》
 今年度も新型コロナウイルス又感染拡大防止のため、1/3はありませんが、毎年1/3の中で取り組みを行い、集まったお金を色々な災害で困っている人たちに義援金として送らせていただいておりますので、ご協力お願いいたします。

さかなグループでは、季節の果物のりんごとぶどうを飾りにしました。
 壁に貼ったり、ひもを通してモビールやカーラソフのようにして飾るとかわいいです！
 さくら：のり貼りのぶどう ばら：ハサミ切りのりんご ゆり：織紙のりんご



しおりは幼児さんみんなで作りました。

はさみ切りや、3枚折、王冠折で作ります。



《すみれさんがお引越してきました》

11月7日にすみの10人のお友だちがお引越してきました。

7月から交流がはじまり、すみれさんが2階にあそびに来ると、さくらさんも少しお兄さんお姉さんになった気持ちで様子を見に行く姿が出てきて、交流の後には「じいんのはしぶんです」と頑張る姿が出て来ます。ばらさんに「ゆりさんはさくらさんのお手伝いをするから、ばらさんがすみれさんのお手伝いをしてあげてね。」と声を掛けると、「つぎは自分たちが頑張るんだ！」と言わんばかりに、あそびを教えようとしたり、どうしていいかわからないけど、手を繋いでお部屋に連れて来てくれる姿が見られるようになります。これから一緒に過ごす時間が長くなります。食事をしたり、休息を取っていく中でどんな仲良くなって、すみれさんを迎え入れる心の準備をしていきたいと思います。

《お願い》

通園かばんに付けているキーホルダーについてお願いします。

登降園時以外にも、子どもたちは園生活の中で通園かばんを使用しています。大きいものや壊れやすいものだと、引っかかったり踏んでしまったりすることがあり、ケガにつながる恐れもあります。また、お友だちの物が気になること触ってしまい、トラブルにつながることもあります。

自分の持ち物の目印に付けてくださっているご家庭もあります。子どもたちには、「小さく壊れにくいもので、付けるのは一つだけにしようね。」とお話していますので、またお家で子どもたちと相談して下さると助かります。